

そら見ろ、戸田が言ってきた通りだろ！



「トポス29億円補償イチャモン訴訟」は、
地裁も高裁も最高裁も、元右翼社長+
共産党の原告側完全敗訴で終わったよ！

2013年 ▼それは原告主張が荒唐無稽な代物だったから！

維新府議の宮本が6月市長選への出馬表明したが、税金巡回寄付がばれて断念。2017年市長選必勝を期す。

11月

●突如、毎日新聞テレビがトポス補償への非難報道！全マスコミがすぐ追随！

11/12：右翼街宣車1台が来て大音響で「戸田先生は調査しろ」と要求！



門真市右翼誠導一靖聯合会会長の足立

11/18：右翼街宣車18台！大音響で園部市長非難と戸田に調査要求



★戸田が単身立ち向かう！

同日、竹内社長が市に監査請求

東大阪右翼の堂村政治結社明皇太会何度も逮捕収監！

元右翼の売名家=竹内社長市議選に何度も出て落選。

竹内

◆マスコミは「トポス補償は違法性無し」の論調に！
▲しかし共産党と緑風クラブは市非難の姿勢を明示！
▲右翼問題は全く無視で！

★戸田が光亜興産の市職員接待旅行問題を追及し、マスコミでも報道！

●マスコミは「何でもいいから園部市政を叩け！」と動く！

2014年

右翼が何度も街宣！役所や議会にも来て議員を威迫！



3/9:右翼車20台が戸田非難で襲来！戸田は単身立ち向かう！

3/18：竹内社長が起こしたトポス賠償裁判第1回め！



▲「税金浪費事業」と言うのは、

(1)必要の無いものを作った場合か、

(2)もっと安く作れる方法があるのにそうしなかった場合

の2つの場合だけ！



しかし新体育館建設は、(1)他市から40年遅れでエアコン付き総合体育館という絶対必要なものを作った（しかも最適地に！）

(2)「市が取った手法より安く作れる手法が無い」事は、共産党もそういう手法を全く示せなかった事から明白！

(3)裁判で原告が主張した「安上がり手法」は、議会では恥ずかしくて持ち出せないレベルの荒唐無稽なもの！

（この点は本通信4ページで詳しく説明しているのでぜひ読んで下さい）

(4)共産党は議会と裁判とで「2枚舌」を使ってきたのだ！
・・・戸田は議会でもHPでも、これをずっと指摘してきた！

★2013年11月から右翼が大量・執拗に押しかけ、2014年に元右翼の売名家=竹内社長が提訴し、それに門真市共産党の活動家達（住みよい門真市をつくる会）が乗っかって参加し、右翼や親維新市議らが同調して騒ぎ立てた「トポス補償イチャモン訴訟」が、2018年12/14最高裁決定でついに終了！

◆騒動発生から5年超、醜悪な「イチャモン連合」の宣伝・主張がデタラメな言いがかりに過ぎなかった事が最高裁決定で確定したが、「デマ宣伝や右翼の横行」、「門真市共産党の愚劣化」、「園部市長の急死と維新・宮本市長誕生」など、門真市に残した傷跡は深い。

●最大の受益者は市長になれた維新・宮本とその一派！

●2番めの受益者は、右翼野放し・右翼と野合で「正義の味方」ツラをして、ずっと市民を騙したまま票集めを続けている門真市共産党！

▲「これは園部市政転覆の謀略だ！」と本質を見抜いて右翼と闘い、啓発し続けた戸田は「裏で金をもらっている」等のデマ宣伝を激しく流れ、2015年市議選で票を減らす大損害！▲園部市長は無念の病死！

2015年

6/17：第2回法廷：この時から共産党グループ「住みよい門真をつくる会」の12人も原告合流
●右翼と共産党が野合した裁判闘争に！

共産党と緑風議員以外は右翼から攻撃街宣の被害に！

★市議選直前の4/5に戸田が右翼街宣禁止仮処分を勝ち取った！

●戸田に順位下げる！市議選で上

2016年

6月、園部市長死去

★7/6地裁判決で原告完敗！
7月市長選で宮本が当選！右翼と緑風のトポス問題批判なしに！

2017年

★6/13高裁判決で原告完敗！

2018年

★12/14最高裁決定で原告完敗！